

答え

- この本では、文章の中のことを正かいてしています。にた言い方のことばで答えてもかまいません。
 - ポイントは、考え方や注意点をてす。答え合わせをするときに、いっしょに読みまじゅう。
 - へくや※は、ほかの答え方てす。
 - () は、答えにあつてもよいものです。
- 例の答えては、にた内ようが書けていれば正かいてす。

1 物語の読みとり (1)
登場人物 ①
ページ 1・2

- 1 (1) はるき
- 2 (1) 男の子
- 3 (1) おばさん
- 4 (1) あきら
- 5 (1) 妹 (2) ぼく
- 6 (1) すみれ

ポイント

きかれているのは、血をふいた人物だよ。

2 物語の読みとり (1)
登場人物 ②
ページ 3・4

- 1 (1) りよう
- 2 (2) お母さん
- 3 (1) 村田さん (2) わたし
- 4 (1) おばさん (2) ゆみ (3) そうすけ

3 物語の読みとり (1)
登場人物 ③
ページ 5・6

- 1 (1) りよう
- 2 (2) お母さん (1) 村田さん
- 3 (2) わたし (1) 先生
- 4 (2) そうすけ (1) おばさん (2) ゆみ

4 物語の読みとり (1)
できごとと場面 ①
ページ 7・8

- 1 (1) トラック
- 2 (1) つばめ
- 3 (1) 太陽 (2) せみ
- 4 (1) 昨日
- 5 (1) 日曜日
- 6 (1) 午前中
- 7 (1) 今日

5 物語の読みとり (1)
できごとと場面 ②
ページ 9・10

- 1 (1) 横だん歩道
- 2 (1) 部屋の前
- 3 (1) 教室 (2) となり
- 4 (1) しっかりと (へしっかりと)
- 5 (1) 思いきり
- 6 (1) そっと (2) にっこりと (へにっこり)

6 物語の読みとり (1)
できごとと場面 ③
ページ 11・12

- 1 (1) けりました
- 2 (1) 鳴き始めた
- 3 (1) 連れてきました (2) 見ました

ポイント

設問の主語に対して、「どうした」「にあたふた」とはをきえよう。

- 4 (1) にぎやか
- 5 (1) 白鳥座
- 6 (1) 入学式 (2) とてもきれい

※「きれい」でもよい。

7 物語の読みとり(1)
できごとと場面④

13・14
ページ

1 (1)おじさん

(2)子犬

(3)クワンタン

(4)さびしそう

(5)入れた

2 (1)夕方

(2)肉屋さん ※「肉屋」でもよい。

(3) (お店の) おばさん

ポイント

「」があるときは、まず「だれが」言ったことばなのかを考えよう。「」の前後に書かれていることが多いよ。

8 かくにんドリル(1)

15・16
ページ

1 (1)①車道

(2)やなぎの下

(2)つまみ上げました(つまみ上げた)

ポイント

松井^{まつい}さんは、白いぼうしが車にひかれてしまいかもしれないと心配して、ぼうしをつまみ上げたんだね。

(3)ふわっ

(4)ひらひら

(5)たけの たけお

(6)じろじろ

ポイント

(3)(4)(6)「どのように」ときかれたら、様子や動きを表す表げんに注目しよう。

(7)ウ

ポイント

「せっかくのえもの」「はもんじろちやう、ね。」

9 説明文の読みとり(1)
話題と内よう①

17・18
ページ

1 (1)鳴くしくみ

2 (1)トンボになる

3 (1)①利用

(2)身を守る

4 (1)①ゾウ

(2)はたらき

ポイント

説明文^{せつめいぶん}を読むときは、まず「何について書かれた文章か」を考えよう。文章の初めに、「調べてみましょう。」「知っていますか。」など、問いかけの形で書かれていることが多いよ。

10 説明文の読みとり(1)
話題と内よう②

19・20
ページ

1 (1)①ビーバー

(2)巣

2 (1)①クモ

(2)えもの

3 (1)①立てて

(2)こすり合わせて

4 (1)一時間

11 説明文の読みとり(1)
話題と内よう③

21・22
ページ

1 (1)ダム

(2)川の真ん中

2 (1)きば

(2)消化えき

3 (1)貝・海そう・イソギンチャク

※順^{じゆん}じよはちがっていてもよい。

(2)貝や海そうをせおって

(3)イソギンチャクをふり回して

※「イソギンチャクで」でもよい。

12 説明文の読みとり(1) 話題と内よう④

ページ 23・24

1 (1) ① ころも

(2) えさやすみか

(3) さんそ

(4) きれい

2 (1) たくわえます

(2) ① ほって

(2) うめます (かくします)

ポイント

野生のリスは、冬にそなえて食料をたくわえるんだね。

(3) ① かくした (うめた)

(2) わすれて

13 説明文の読みとり(1) 話題と内よう⑤

ページ 25・26

1 (1) 時期や方向

(2) ① 昼と夜 (2) 変化 (3) 季節

(3) 太陽や星の位置

2 (1) 毛の色の变化

(2) ① 春から夏にかけて (2) うす茶色

※ ① 「春から夏に」でもよい。

(3) ① 見つかりにくく (2) 守る

ポイント

終わりの文「このようになりまます。」に注目してね。

14 かくにन्द्रル(2)

ページ 27・28

1 (1) ① もんしろちよう (2) 花

(2) ① 赤 (2) 黄 (3) むらさき (4) 青 (5) 色

※ ①〜④は順じよがちがつていてもよい。

(3) 花を見たことのない

※ 「花を見たことがない」でもよい。

ポイント

「実験は、まず、〜」で始まるだん落で、実験の方法が書かれているよ。

(4) ① いっせいに

(2) 花だん

(3) むらさき

(4) 赤い

ポイント

「もんしろちようはいっせいに、〜」花だんは、たちまち、〜」で始まる二つのだん落で、実験の結果が書かれているよ。

(5) 例 もんしろちようが、色で花を見つけていること。

ポイント

「でも」は、前の文と反対のことながら後に続くときにつづよ。

(6) イ

15 物語の読みとり(2) 場面の様子①

ページ 29・30

1 (1) ゴーゴー

(2) ギシギシ

2 (1) そよそよ

(2) ほかほか

3 (1) せつせと

(2) よたよた

4 (1) はつとしました

(2) (かぎを) さがしてみました

16 物語の読みとり(2) 場面の様子②

ページ 31・32

1 (1) こぼれ落ちそうに

(2) ① 立ち止まろう

(2) 登って

(3) わざと大きな声で

※ 「大きな声で」でもよい。

2 (1) ① くま

(2) あわてた

(2) いっせいに

(3) ① バサバサ

(2) すばやく

17 物語の読みとり(2) 場面の様子③

ページ 33・34

- ① 音楽 ② うずうず
- ③ こっそり

③ ①にぎやか ② 楽しそう

※ ①②は順じよがちがっていてもよい。

ポイント

「ドンドン、ピーヒャラ」と音楽が鳴りひびく様子から、広場がにぎわっていることがわかるね。

18 物語の読みとり(2) 場面と様子を表す言い方①

ページ 35・36

- ① 静か ② 落ち着いた

③ ぼうつと

② 白いじゅうたん

② 花畑

- ① ①いっせいに

② バサバサ

② おもちや箱をひっくり返した

③ さわぎ

19 物語の読みとり(2) 場面と様子を表す言い方②

ページ 37・38

- ① 気持ちがよく

② ①月の明かり

② ともった

③ ①野原 ② ほたる

※ ①「草むら」でもよい。

- ① からから

② ①よごれて ② 見分け

③ ①水たまり ② 息苦しく

※ ①「どろ水」「どろ水の中」でもよい。

20 かくにんドリル③

ページ 39・40

- ① イ

② ①からっと ② きんきん

③ ほ ④ しずく

③ 少ない

ポイント

「ただのとき」とは、「じつじつのとき」「ぎのことだよ。前の文に」「川は、いつもは～」とあるね。

④ 水につかることのない、川べりの「すすきや、はぎのかぶが、黄色くにこつた水に横だおしになって、もまれていきます。

⑤ ウ

ポイント

「ごんは、」見つからないように「行動しているね。

⑥ ①こし ② 水にひたり

21 説明文の読みとり(2) 文をつなぐことば①

ページ 41・42

- ① ぬれた

ポイント

「だから」に続くことはだから、前の文の内ようを受けて、その結果を表すことばを選べばいいね。

② しなかった

① だから

② それで

③ ①ぬれなかった

② よごれた

④ ①でも

② しかし

22 説明文の読みとり(2)
文をつなぐことは② ページ 43・44

- 1 (1)した
- (2)行こうか

- 2 (1)そして
- (2)それとも

- 3 (1)何をしますか
- (2)おぼです

- 4 (1)では
- (2)つまり

23 説明文の読みとり(2)
文をつなぐことは③ ページ 45・46

- 1 (1)一ぴきだけだ

- 2 しかし
- 3 また

ポイント

2 3 考えて選ぶほう。
の前後のつながりを

- 4 (1)わすれてしまう
- (2)それで

ポイント

「わすれる。□、木の実が芽を出す。」
という、つながりだよ。

24 説明文の読みとり(2)
文をつなぐことは④ ページ 47・48

- 1 ①しかし ②また

ポイント

「また」は、前の文の内ようと後の文の内
ようがならぶような関係になるときや、
前の文の内よりにつけ加えるときに使っ
文をつなぐことはだよ。

- 2 そして

- 3 ①そして
- ②では

- 4 ①すると
- ②だから
- ③また

25 説明文の読みとり(2)
さししめすことは① ページ 49・50

- 1 (1)さいふ
- (2)かご

- (3)建物
- (4)テーブル

ポイント

それぞれの□の部分に、〔 〕のことは
を入れて文を読んでみよう。意味が通れ
ば答えは合っているよ。

- 2 (1)岩石

- 3 (1)うす茶色
- (2)真っ白

26 説明文の読みとり(2)
さししめすことは② ページ 51・52

- 1 (1)きば

- 2 はたらき
- (3)メソポタミア

- 3 (1)丸いしまもよう
- (2)流しびな

ポイント

27 説明文の読みとり(2)
さししめすことは③ ページ 53・54

- 1 (1)どろどろにとけている岩石

ポイント

これに〔 〕のことはを入れてみよう。「ど
ろどろにとけている岩石をマグマとい
います。」という文になって、意味が通るね。

- 2 オリンピックの五つの輪のマーク

- 3 よう虫を育てるための部屋
- (1)メソポタミア地方

ポイント

「こ」「こ」「こ」は場所を、「これ」「こ
れ」は物やことがらをさしますよ。

- 3 (1)きょうりゅうの死体
- (2)ほね

- ① 部屋の使い方
- ② 家の部屋

① 何に使う

ポイント

「そこあそこ」とは「の」をしている内みうは、それより前の部分(文)に書かれていることが多しよ。

(3) ウ

ポイント

ウの前では洋室の良きについて、ウの後では和室の良きについて書かれているね。「これに対して」の「これ」は、「洋室は、その部屋で〜つくられていて、その文をさしているよ。」

(4) ウ

ポイント

前の文の「洋室だけしかないとすると、必要になります。」に対して、後では、「和室が一部屋あれば、〜ことができます。」と反対のことがらが書かれていますね。

- (5) 和室
- (6) 和室…ア 洋室…イ

- ① 楽しく
- ② 悲しく
- ③ うれし
- ④ さびし
- ⑤ くやし
- ⑥ うれし
- ⑦ びっくりした

- ① さわいだ
- ② こぼした

③ (1) (あきとを) となりつけた

④ (1) ① かんて ② ぶるわせて

ポイント

しおりは、「ゴールの手前でぬかれてくやしかったんだね。」

- ⑤ (1) ① 泣きだした ② にじんできた

- ① (1) ひめだかの赤ちゃん
- ② (1) ① 転校 ② 大ちゃん
- ③ (1) こわい

ポイント

「足がすくむ」とは、おそれやおどろきなどから、体が自由に動かなくなったり、ちぢこまったりすることだよ。あゆみは、つり橋を歩くだけでもこわかったんだね。

- ④ (1) 思いがけなく

ポイント

「〜とうして」「や」「なぜ」「ときかいたら、〜から」「や〜のて」と答えるようにしよう。

- ① 残念だ
- ② 楽しい
- ② (1) 助けるぞ

ポイント

「〜からすをきつとにらみつけた。」とあることから、かすみの気持ちの強さがわかるね。

(2) 無事で安心した

33 物語の読みとり(3) 気持ちの変化②

65・66
ページ

- ① ①どこにいるのかなあ
② たくさん見つけるぞ
② じまんしたい

ポイント

初め、りょうはなかなか貝を見つけれることができなかったよ。その後、一生けんめいさがして、たくさんのお貝を拾ったことから考えるといいね。

- ① 泳げるかどうか

※「泳げるか」でもよい。

- ② 泳げるかもしれない
- ③ かん声を上げた

34 物語の読みとり(3) せいかくや人がら

67・68
ページ

- ① ①だれか
② ゆずろう
③ 席

ポイント

バスがこんできたので、「ほく」は、だれかに席をゆずろうと思っていたよ。でも、そのきっかけがつかめずにいたんだね。

- ② 思いやるやさしい
① ①からす

- ② あいちゃん
- ② 助けたい
- ③ かすみは、からすをきつとにらみつけた。

35 かくにんドリル(5)

69・70
ページ

- ① 今でも地下

ポイント

〰の後の文に注目しよう。「そうしたい気持ち」とは、プラタナスの切りかぶの上に立ってみたい気持ちだよ。

- ② 根にささえられている

- ③ ①みんな ②両手

ポイント

マーちゃんの「根にささえられているみたい」ということから、プラタナスの木になったように感じていることがわかるよ。みんながどのように乗ったかは、「せいの高い花島君を〜」のだん落に注目しよう。

- ④ ①プラタナス
- ② (きつとまた) おじいさん
- ⑤ ウ

36 説明文の読みとり(3) だん落と要点①

71・72
ページ

- ① ①ア 輪切り
① しまもよう
- ② ①ア うすい色
① ①こい色
① ①ウ 差

- ② ① ①ア (照りつける太陽の) 熱

- ① ① ①ウ 熱
① ①エ 大気
- ② ① ①ア 温度
① ①調節
- ③ ① ①温度差

37 説明文の読みとり(3) だん落と要点②

73・74
ページ

- ① ① ①ア だろだろ
① ①岩石
- ② ① ①ア マグマ
① ①ふき出して
- ③ ① ①ア 温せん
① ①観光
- ② ① ①ア 死体 (へほね)
① ① (陸で) 発見
- ② ① ①ア 海の水
① ①地面

38 説明文の読みとり(3)
だん落と要点③ ページ 75・76

- 1 (1) 少ししかふまれていない
- (2) ア人が通らない
- イほかの草
- ウオオバコは育たない

ポイント

②③④のだん落の内ようを、⑤でまとめ
ているよ。

- 2 (1) ②…えもの
- (2) ③…てき

- (2) ア下から
- イはら
- ウ水面

39 説明文の読みとり(3)
だん落の関係① ページ 77・78

- 1 (1) ア…③
- (2) ア

- 2 (1) ②
- (2) アうすい

- (3) ②
- (4) 一年ごと

40 説明文の読みとり(3)
だん落の関係② ページ 79・80

- 1 (1) ②
- (2) 熱
- (3) イ

ポイント

「は」は、話題を**変える**ときに使う文を
つなぐのに使われます。

- 2 (1) ア…①
- (2) イ

- ①…②③④
- ウ…⑤

※①は順じよがちがつていてもよい。

ポイント

この文章は、大きく(1)の⑦～⑨の三つに分けられるんだね。

41 説明文の読みとり(3)
だん落の関係③ ページ 81・82

- 1 (1) ア…②
- (2) アえもの
- イ見つけにくい
- (1) ア…④
- イ…③
- (2) ア四月
- イ六月
- (3) ウ

ポイント

②④のだん落が、**観察**してわかったことだよ。

42 かくにんドリル(6) ページ 83・84

- 1 (1) ①ヤドカリ
- (2) (1)いくつもの イソギンチャク

ポイント

「〜てしょうか。」「の言い方に注目して、
筆者の問いかけをとらえよう。」

- (2) ④・⑤

※順じよはちがつていてもよい。

- (3) ①つかまえる
- ②食べて

- (4) ア
- (5) ⑥

ポイント

②のだん落…なぜ、ヤドカリはいくつものイソギンチャクを見がらにつけているのかという問い。

③・④・⑤のだん落…ヤドカリがイソギンチャクを見がらにつけている理由を調べる**実験**の内ようとその**結果**。

⑥のだん落…ヤドカリは、イソギンチャクを見がらにつけることで、**敵**から身を守る**こと**ができるという、②の問いに対する**答え**。

と、このように成て書かれた文章だよ。

- (6) ナ

43 詩の読みとり(1)

85・86
ページ

- 1 (1) イ
(2) たかくなる

ポイント

②のまとまりは、「一行ずつ」「だん」ということばがふえているね。少しずつたかくなることばはこの様子が伝わるように、詩の形をくまうつしているよ。

- (3) 例 たかくなったことばはこが、とても大きく見えたから。

※ 「大きくてとべなかったから。」などとびばこを「大きく」感じている内ようが書いていけば正答。

- 2 (1) ウ
(2) 例 日の光

※ 「太陽」などでもよい。

- (3) 例 水が流れている
(2) 例 風がふいている
※ ①「水の」、②「風の」でもよい。
また、ひらがなで書いてもよい。

44 詩の読みとり(2)

87・88
ページ

- 1 (1) あ ① 黒い ② 銀
い ① 青い ② 白く

- (2) ① ふしぎ ② あたりまえだ

※ ②「あたりまえ」でもよい。

- 2 (1) イ

ポイント

「とまれと言ってももうとまれなら」とあるな。

- (2) ① 川 ② あたらしい日

45 しんだんテスト(1)

89・90
ページ

- 1 (1) 練習
(2) おどりがあって

- (3) 楽器倉庫の上。

※ 「楽器倉庫」でもよい。

- (4) イ

- (5) ① いきいき ② えんそう

- (6) リっぱな楽器

※ 「リっぱ」でもよい。

- (7) うつとりとへうつとり

(8) おたがいに足りないところをおぎない合って、音楽をつくっているのです。

ポイント

「おぎない合つ」とは、足りないところを十分になるように、おたがいにつけ加えるという意味だよ。楽器たちはみんなて協力し合って、月がうつとりと聞きほれるような音楽をつくり出したんだね。

46 しんだんテスト(2)

91・92
ページ

- 1 (1) ① だんだん高く ② 真っ白

※ ①「高く」でもよい。

- (2) イ

ポイント

のぶよの心の中の声に注目すると、のぶよが、お母ちゃんやけんじ、自分のことを考えながら走り始めたことがわかるよ。体が重く感じたのは、考えて気持ちが落ちこんだからだね。

- (3) ① けんじ ② お母ちゃん

※ ①②は順じよがちがついていてもよい。

- (4) ① 思わず、ぎゅん

② すわつと軽く

- (5) ① 体 ② するする ③ ほどけて

ポイント

「体にからみついていたいような思い」とは、お母ちゃんやけんじ、自分に対する思いのことだよ。けんじとお母ちゃんが自分をおうえんしてくれたことで、のぶよの落ちこんだ気持ちはどこかへ消えたんだね。

47

しんだんテスト(3)

ページ
93・94

①(1) ひとに あせを 光らせ、口を 大きく 開けて、全身で よろこびを 表しながら 走る(選手の様子がよく伝わりませう)。

②(例) ゴールを決めた選手が両手を広げて走っているとき

(3) ① アップ ② 細かい部分

③ うつされて いない 多くの部分

※③ 「多くの部分」でもよい。

(4) ① ルーズ ② 広いはんい

③ 各選手の顔つきや視線、それらから感じられる気持ち

(5) ① 伝えられる ② 伝えられない

※①②は順じょがちがついていてもよい。

(6) イ

ポイント

①の だん落と ②の だん落では、例を 挙げながら くらべて 説明し、③の だん落で まとめ ているよ。

48

しんだんテスト(4)

ページ
95・96

①(1) イ

(2) ウ

ポイント

「ぼく」は、ピーターのことを 「半分信じて なかった」けれど、周囲を見わたしたり、考えたりしているね。ピーターの真けんな様子に、うたがいがながらも協力する「ぼく」の様子を読みとろう。

(3) 駅の向こう側の、おかのう

(4) ア

(5) ピーターはライトを持って先に歩き、

ぼくはかにかまねながら、後ろからついていった。

(6) イ

(7) ピーター

※ 「人」などでもよい。

49

発展テスト(1)

ページ
97・98

①(1) イ

(2) まるでボートをこぐオールのようにです。

(3) ア

(4) ① くちばし ② 体のしる ③

(5) 水生こん虫

(6) (例) アメンボは、水面にうかが食べ物を取って生きているから。

ポイント

②の だん落の 問いかけに 対して、⑤の だん落で まとめ られているよ。

50

発展テスト(2)

ページ
99・100

①(1) レプトセファルスがとれた場所。

(2) 小さく

(3) とれなく

(4) ① (大きな) 海山 ② 南北

(5) イ

(6) ウ

ポイント

終わりの だん落に 注目しよう。「レプトセファルスの たんじょう日 を」こよみと照らし合わせました」とあるね。

(7) ① 新月 ② たまご

51

発展テスト(3)

ページ
101・102

①(1) ア

(2) ウ

(3) ① 明るさ ② くらべる(という)

(4) ① 暗く ② 明るく

(5) イ

(6) イ

(7) (例) 「あ」と「い」が同じ色であることをしめすため。